



Kumamoto University

Campus Museum Report 6

Topic 01

学生アンバサダー (team COCORO) 活動報告

「肥後の里山ギャラリー」・「夏目パージアム」見学〈R8.5.15・25〉

学生アンバサダー活動における展示企画および広報活動の向上を目的として、学外2か所のミュージアムを見学しました。

肥後の里山ギャラリー：熊本市中央区練兵町1番地 肥後銀行本店ビル1階



漱石の作品にフォーカスした展示もあり、小説の場面を疑似体験出来るような絵画や小物があったのが面白かったです。(Oさん)

貴重な資料がずらりと並んでいるのが印象的だった。ただ見に行くだけでなく、職員の方の解説があったからこそ2倍にも3倍にも見識が広がった。(Mさん)

文豪の枠を超えた「生身の人間」としての漱石に出会える展示でした。特にリアルで少し不気味なデスマスクの存在感到に圧倒されました。(Iさん)

夏目パージアム：熊本市中央区下通1-7-18 ホテルタウ熊本1F



入った瞬間からとてもオシャレな空間だなと感じた。いわゆる博物館ではなく、ラフな感じで楽しく見ることができる親しみやすい展示であった。(Fさん)

漱石が一月に食べていたジャムの量や彼の髭など、目で見て、直接触れることのできる展示品は非常に彼の姿を身近に感じることのできる素晴らしい試みだと感じました。(Hさん)

AIの夏目漱石と会話ができたことです。私は恋愛相談をしました。本当に夏目漱石先生と話しているようで、とても楽しかったです。(Aさん)

キャンパスミュージアム推進機構 講演×公演 開催〈R8.3.29〉

工学部百周年記念館にて開催されました、『講演×公演』では、小泉八雲記念館館長でラフカディオ・ハーン曾孫でもある小泉凡氏による「現代によみがえる小泉八雲とセツ、そして怪談」と題しての講演と、熊本が誇る清和文楽の怪談「雪女」の公演が行われました。学生アンバサダーでは、当日の司会、照明音響、受付や駐車場対応など行いました。



講演と公演の運営で照明と会場設営を担当しました。光の加減で物語の温度や演者の熱量が客席へ伝わった時は本当に感動しました。(Iさん)

人形浄瑠璃を直接見ることは初めてでしたが、会場全体に響き渡る声の迫力や、人が操っているとは思えないほど繊細で生々しい人形の動きに目を奪われました。(Kさん)



小泉凡様が、ご自身の旅好き的一面や小泉八雲の思想、朝ドラの美術のお話をユーモラスにお話してくださり、とても惹き込まれました。(Wさん)

テレビ熊本「かたらんね」出演〈R8.3.18〉

学生アンバサダーのメンバー2名が、テレビ熊本（TKU）の情報番組「英太郎のかたらんね」に出演しました。番組では、「講演×公演」の見どころや普段の活動について紹介しました。生放送で緊張した様子も見られましたが、笑顔で受け答えし、自分たちの言葉で熊本大学の魅力や日頃の活動をPRし、広く皆さまに伝える貴重な機会となりました。



Topic 02

イベント情報

開催
しました「フェルメール 蘇る全37
リ・クリエイティブ作品展」

会期中(6月15日～7月30日)は、のべ6,572名を超える大変多くの皆様に肥後の里山ギャラリーへご来館いただき、大盛況となったことを心より感謝申し上げます。また、期間中に実施したギャラリートークや福島絵美アナウンサーによる朗読会、演奏会にも多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

開催中

企画展「一高と五高」

旧制第一高等学校(一高)と第五高等学校(五高)の歴史や文化を比較し、両校のつながりや生徒・教師の交流について紹介します。東京大学駒場博物館の貴重な資料を通して、五高の歴史や一高から受けた影響について学ぶことができる企画展です。



【展示期間】8月5日(水)～11月3日(火・祝)

【場 所】熊本大学五高記念館

【入 館 料】無料

【開館時間】午前10時～午後4時

(入館は午後3時30分まで)

【休 館 日】毎週火曜日

※11月3日(火・祝)は開館

これからの
開催

紫熊祭 マント体験会

11
/
1・310:00～16:00
(予定)

マントを着て、五高生気分で館内を見学・記念撮影。スタンプラリーも計画中。

キャンパスミュージアム
漱石来熊130周年記念講演会11
/
2213:30～16:00
工学部百周年記念館

漱石の孫である夏目房之介氏および松岡浩史文学部准教授による講演と学生による作品朗読。詳細は、決定次第、HP等でお知らせいたします。

